



(2,000円)

特 許

特許法第38条ただし書の規定による特許出願

昭和48年1月24日

特許庁長官

1. 発明の名称  
2. 特許請求の範囲  
3. 発明者

住所  
氏名

4. 特許出願人

住所  
氏名  
(国 籍)

5. 代理人 〒940

住所  
氏名

6. 添付書類の目録

- |           |      |
|-----------|------|
| (1) 明細書   | 1 通  |
| (2) 図面    | 1 通  |
| (3) 願書副本  | 1 通  |
| (4) (委任状) | 1 通) |

明 細 書

1. 発明の名称 研磨方法並にその装置

2. 特許請求の範囲

1. 2個の細長いバフ筒を傾斜させた状態で駆動自在に対設し、このバフ筒にハンドル杆を一端から他端へと移送せしめてハンドル杆の全長を研磨する事を特徴とした研磨方法。

2. 傾斜角度を可変し得る機台上に2個の細長いバフ筒を駆動自在に対設し、このバフ筒の長さ方向に対する中心上にハンドル杆を一定間隔毎に吊下して移送する移送チェーンを設けた事を特徴とする研磨装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は調理用スプーン、レードル、フライ返し等の調理器の長いハンドルを自動的に研磨を行う

①9 日本国特許庁

## 公開特許公報

①特開昭 49-97995

④3公開日 昭49.(1974) 9. 17

②特願昭 48-10176

②2出願日 昭48.(1973) 1. 24

審査請求 有 (全4頁)

庁内整理番号

⑤2日本分類

6642 33

74 K6

研磨方法並にその装置に関するものにして、その構成を添付図面を参照に詳述すると次の通りである。

傾斜角度を自由に可変出来る機台(1)の前後両端に軸受(2)(3)(4)(5)を設けている。

この機台(1)は後部両側に支持片(6)を設け、この支持片(6)の先端部を左右に立設した支持杆(7)の上部に枢着軸(8)により枢着している。

前部両側にナット(9)を設け、このナット(9)に左右に立設した駆動軸子杆(10)を組合せしめてこの駆動軸子杆(10)をハンドル操作で駆動する事により機台

(1)を前記枢着軸(8)を支点として上下に駆動するようになっている。

前記軸受(2)(4)間と軸受(3)(5)間にバフ筒(11)を機台(1)と平行させた状態で駆動対設する。



る。

4 図面の簡単な説明

第1図は本装置の正面図、第2図はその平面図、

第3図は一部を切欠ける要部の拡大正面図、第4

図はその側面図である。

20・・・バフ筒、21・・・ハンドル片、(1)・・・機台、

22・・・移送チェーン。

昭和48年1月24日

出願人 有限会社榮山機械製作所

代理人 吉 井 昭 榮

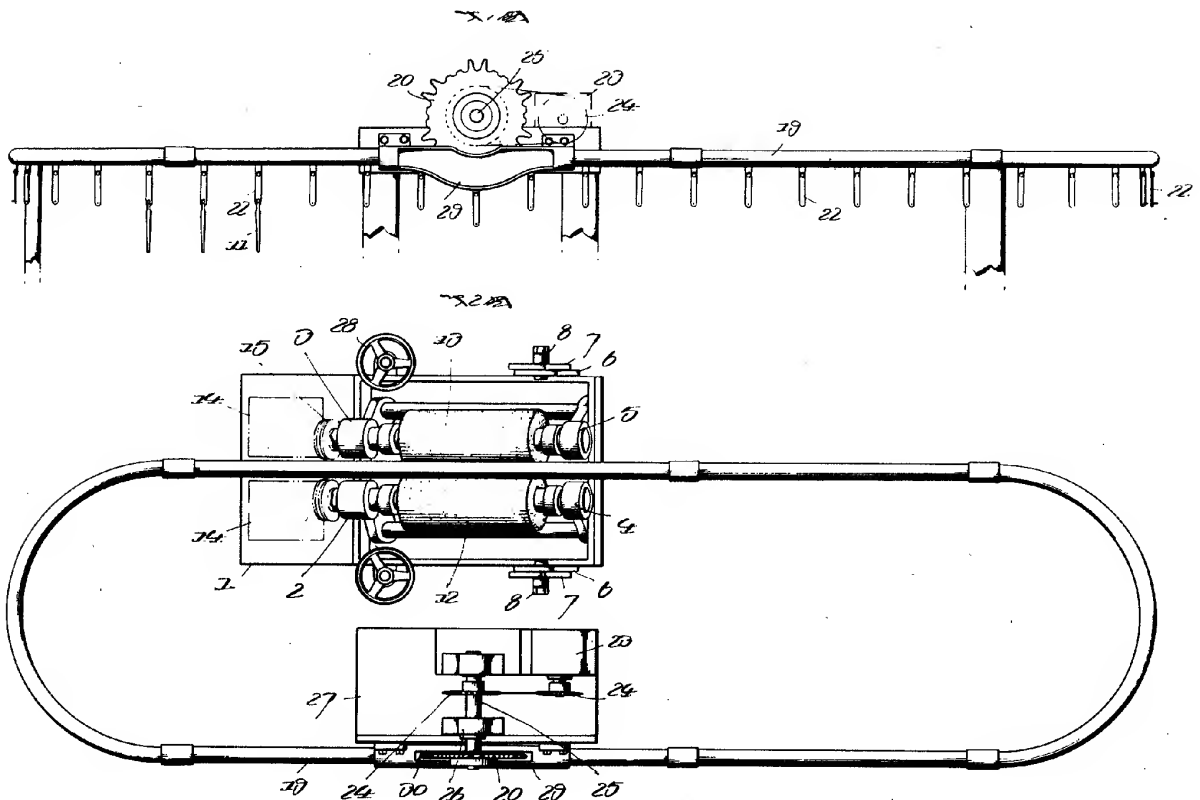


Fig. 1

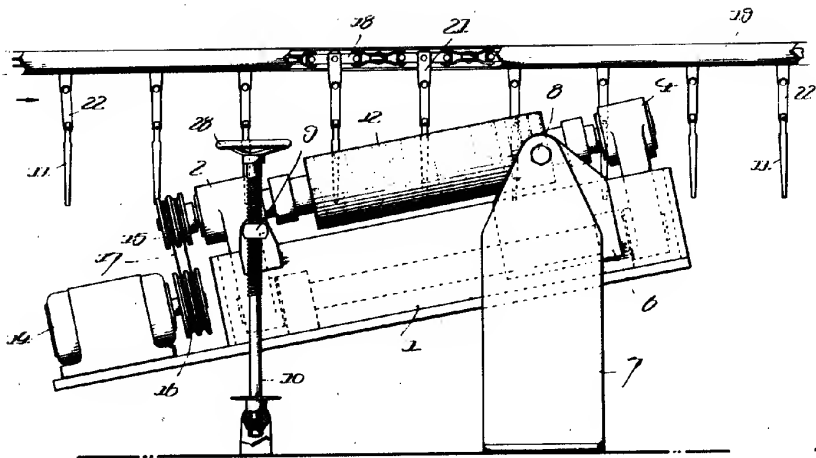


Fig. 2

